

在宅医療・介護連携推進事業 ACP作業部会実施要領

1 目的

切れ目のない在宅医療と介護連携体制を構築するため、地域ケア推進会議にて、看取り体制のめざす姿を「本人が望む場所で、自分らしく最期まで今を生きる」と設定した。また、ACPのアンケート結果から、安城市の現状としてACPの理解不足や病院と在宅でのACPに関する情報共有がなされていないことが明らかとなった。今後看取り体制のめざす姿を実現するためにも市内の病院や施設、在宅サービスの専門職、市民に向けてACPの普及啓発を行う必要がある。

2 作業部会協力者

- 1) 愛知県および国立長寿医療研究センター主催の「あいちACPプロジェクトリーダー」の研修を受講した市内に勤務する専門職
- 2) 日本アドバンス・ケア・プランニング研究会会員
- 3) 一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会主催「エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座受講者
- 4) ACPの実践に関わる専門職で作業部会の推薦がある方

3 開催頻度、時間

令和5年4月以降、概ね年2～3回程度、1回あたり1～2時間程度

4 開催期間

令和5年度～8年度（予定）

5 活動内容

- 1) 市内で活用できる安城市版ACPの手引書等の作成及び修正、普及啓初
- 2) ACPに関する研修会等への協力

6 事務局

安城市・安城市在宅医療サポートセンター